西春日井広域事務組合
地球温暖化対策実行計画に基づく進捗状況

令和５年 12 月 20 日

西春日井広域事務組合地球温暖化対策実行計画に基づく令和４年度分の実績を公表します。

１　温室効果ガス総排出量（事務事業編）

⑴　当組合の削減目標：令和 12 年度までに基準年度比（令和２年度）約 10%削減。

基準年度：令和２年度

	年　　度	電　　気	ｶﾞｿﾘﾝ	軽　　油	ＬＰＧ	都市ｶﾞｽ	排出合計
本部庁舎 東消防署	令和２年度	96.6t	29.2t	17.8t		13.4t	157.0t
	令和４年度	△103.0t	△37.0t	△19.6t		△13.8t	△173.4t
西消防署	令和２年度	63.3t	31.4t	18.3t		9.6t	122.6t
	令和４年度	▼57.7t	△40.3t	△20.3t		▼ 8.4t	△126.7t
西春出張所	令和２年度	22.0t	10.0t	6.0t	3.0t		41.0t
	令和４年度	▼ 18.2t	△15.2t	△ 6.5t	▼1.8t		△ 41.7t
割　　合	令和２年度	56.8%	20.0%	13.1%	0.9%	7.2%	320.6t
	令和４年度	▼ 52.3%	△27.1%	△13.6%	▼0.5%	▼6.5%	△341.8t
対基準年度比		▼　4.5%	△ 7.1%	△ 0.5%	▼0.4%	▼0.7%	△21.8%

（△：基準年度より上昇　　▼：基準年度より下降）

⑵　当組合の令和４年度の温室効果ガス総排出量は、基準年度比で約 21.8%増加しました。

２　評価

⑴　電気使用量（▼4.5%）

天候については、真夏日以上の日数が令和２年に比べ 19 日増加しているため、一部の施設で電気使用量が増加しています。

その他施設では、電気使用量が減少しているため、令和３年度に行った庁舎 LED 工事により電気使用量が削減できたと考えられます。

⑵　燃料使用量（ガソリン・軽油　△7.6%）

令和２年と比較すると全体の出動件数が 2,073 件増加しています。

また、新型コロナ傷病者の対応に伴い現場滞在時間が増加したため、排出量が増加したと考えられます。

⑶　ガス使用量（LPG・都市ガス　▼1.1%）

新型コロナ感染症の対策として若干の減少はありましたが平均の使用量と考えます。

全体を見ると、新型コロナ感染症が５類に移行してから電気及びガスの使用量は徐々に減少していますが、燃料使用量の増加が続いています。

令和２年度の総排出量と比べ増加していますが、引き続き当組合における電気、燃料及びガスの使用料を削減することにより、少しでも多くの温室効果ガス排出量削減に努めます。